

(別紙)

成果の説明書

| | |
|---|-------------|
| (氏名) 黒川基裕 | (学部) 地域政策学部 |
| 1 重要事項 | |
| 1.1. 研究成果 | |
| <p>前年度より引き続き途上国におけるクリエイティブ産業振興、デザイン領域での国際協力、に関連するテーマを推進してきた。今年度は、特に、1. クールジャパン、ビジット・ジャパンの経済的効果、2. クリエイティブ産業振興による地域経済の生産性の変化、3. 途上国市場攻略に向けた製品・サービスのローカライズ対応、などの研究成果を取りまとめた。</p> | |
| <p>Kurokawa., M. (2016) <i>“Effects of “Cool Japan” and “Visit Japan” for the regional economic development”</i> IPAA WA Public Sector Research Day 2016, Australia</p> | |
| <p>Kurokawa., M. (2016) <i>“Creative Industry Development and Its Impact to Regional Productivities in Thailand”</i>, The 13th International Conference ASIALICS 2016, Thailand</p> | |
| <p>Kurokawa., M. (2017) <i>“Product & Service Localization in Developing Economies, Implication from UNIQLO in Bangladesh”</i>, The 14th Conference of IFEAMA, Nepal</p> | |
| <p>また、当該年度は学内制度による国外研修によって、オーストラリア・パースの Murdoch University に Visiting Fellow として勤務した。滞在期間中には、下記のセミナーが開催され、研究成果の発信に務めた。</p> | |
| <p>Kurokawa., M. (2016) <i>“Economic Development & Design: Contribution of Creative Industry in Developing Economies”</i>, Asia Research Centre Public Seminar, Murdoch University, Australia</p> | |
| <p>Kurokawa., M. (2016) <i>“Creative Industry Development, Its concept, and product localizing issues”</i> LUNCHTIME SEMINAR, School of Business and Governance, Murdoch University, Australia</p> | |
| <p>Kurokawa., M. (2016) <i>“Product & Design Localization in Southeast Asia: Perspectives from creative industry development”</i> Political Science and International Relations Seminar Series 2017, University of Western Australia, Australia</p> | |
| 1.2. 社会貢献 | |
| <p>上記の通り、当該年度は国外研修期間中であったため、国内における社会貢献活動は限定的であった。しかしながら、研究室生による BOP 製品の商品企画プロジェクトは継続されており、高崎市内の企業 2 社の指導による研究活動は進捗した。2 つのプロジェクトのいずれも具体的な成果に到達していないが、昨年が続いて「ぐんぎんビジネスサポート大賞」に応募する段階には至った。各サポート企業との関係性は次年度も継続の</p> | |

| |
|--|
| <p>予定であり、今後は公表に耐えうる成果を目標としていく。</p> |
| <p>2 その他の事項</p> <p>昨年度の段階で、タイ国のみならず周辺国での研究活動・サービス提供の強化を目標としていたが、特にミャンマー、ラオス、ベトナムにおける大学研究者、政府関係者とのネットワーク強化を進めることができた。この事により、今後の研究計画を地域全体に拡張することができると考えている。</p> |
| <p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>次年度においても、引き続き「途上国とデザイン」という枠組みを軸に、クリエイティブ産業振興、産業デザイン人材育成、ローカライズ活動のモデル化、その他デザイン学からのアプローチを進めていきたい。</p> <p>研究成果の公表については、学術的な成果、社会貢献に資する成果ともに積極的に取り組んでいきたいと考えているが、現時点で決定している成果は以下のとおりである。</p> <p>Kurokawa., M. (2017) <i>“Differentials in consumer's preference among Asian nations and Product Localization Presentation”</i> The 10th International Convention of Asia Scholars (ICAS-10), Thailand</p> <p>Kurokawa., M. (2017) <i>“Creative industry development and inclusion of regional economy”</i> The 3rd International Conference on Public Policy (ICPP-3), Singapore</p> |